



「企業のCSR活動と“みるスポーツ”としての障がい者スポーツ」

2017年

12月4日(月)

関西大学堺キャンパス

13:00~14:30(公開セミナー)

SB302教室

14:40~15:10(プレイの実演)

体育館2階アリーナ

日本で障がい者スポーツが、健康のためのリハビリではなく競技として注目されるようになったのは、1998長野冬季パラリンピック大会からであった。さらに、2020東京夏季パラリンピック大会では、障がい者スポーツが“みるスポーツ”として飛躍することが期待されている。その飛躍のためには、アスリートのパフォーマンス向上とともに企業や行政のサポートが不可欠になるが、今回のセミナーでは、障がい者スポーツの支援に熱心な企業の方をお招きして、CSR (corporate social responsibility) 活動の理想と現実についてお聞かせいただく。あわせて、大阪で毎年2月に女子車いすバスケットボールの国際親善大会を開催されている事務局の方と、アスリートの方にもお越しいただいて、“みるスポーツ”としての障がい者スポーツの可能性を探りたい。

なお、セミナー修了後には体育館へ移動して、車いすバスケの日本代表選手と関西大学の車いすバスケチーム「little suns」に実際のプレイを披露してもらう。

※申込不要・参加無料

講演1

「“民活”で育てる国際親善車いすバスケットボール大阪大会」

小山 直幸氏

社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
障がい者スポーツ振興部スポーツ振興室 室長
国際親善車いすバスケットボール大阪大会実行委員会事務局長

講演2

「avexがチャレンジドアスリートを支援する理由(わけ)」

小日向 一郎氏

エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
グループ管理本部 総務グループ
チャレンジドアスリート推進ユニットマネージャー

講演3
プレイの実演

「障がい者スポーツを支えるとは —アスリートの立場から—」

柳本 あまね氏

同志社女子大学
車いすバスケットボールチーム「カクテル」所属

インタビュー

杉本 厚夫氏

関西大学 人間健康学部教授

司会

西山 哲郎氏

関西大学 人間健康学部教授

お問い合わせ先

関西大学研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-1179 FAX:06-6339-7721
E-mail: keiseiken@ml.kandai.jp

※このセミナーは、関西大学・教育研究高度化促進費
（「ブランド創造都市」大阪の推進と発信 —食・安全・健康—）の支援を受けた共催企画です。